

# SSH科学講演会

2014.10.24

## 「深海への招待 地上とは異なる生態系の存在」

独立行政法人海洋開発機構 吉田 尊雄

今年の科学講演会は独立行政法人海洋開発機構 吉田 尊雄 氏 にお願しました。独立行政法人海洋開発機構とはあの有名な「しんかい6500」などを利用してさまざまな研究を行っている組織です。

講演のはじめには、「深海」は海面下何メートルから深海か？や地球の何%が深海か？や、深海で受ける圧力や太陽光の届く距離など一般的なお話がありました。



しんかい6500に乗って世界中の海で潜水したうちで、ブラジル沖での潜水中に花崗岩が海底で見つかり、アトランティス大陸の発見かと大騒ぎになったことも話しに出てきました。



さて、いよいよ先生の研究テーマについてです。深海底は砂漠のようにほとんどが何もなかったところなのですが、ところどころに生物が多く集まるオアシスのような所があるそうです。そこは海底から熱水や湧水が吹き出しているところだそうです。その生物の中にシロウリガイという二枚貝があるそうです。その貝はなんと血が赤いという話で写真を見せてもらいました。その貝の細胞中に化学合成細菌が共生しているという話でした。深海は太陽光がまったく届かないので、光合成はできません。そこで湧水中の成分から共生している微生物が有機物を合成している。その有機物を栄養にシロウリガイは生きている。ではどのようにして微生物はシロウリガイに栄養を渡しているのかなど、そのシロウリガイの研究の話をしていただきました。



最後に生徒会長から講演のお礼をさせていただきました。とても有意義な講演を聴かせていただきました。ありがとうございました。